

科目名(単位数)	心理学的支援法(心理療法)/心理療法概説 (2単位)		3. 科目番号	SPMP3353 EDPS3308
2. 授業担当教員	原 千恵子			
4. 授業形態	講義、演習、討議	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	心理学概論を既習していることが望ましい			
7. 講義概要	様々な心理療法の中から、クライエント中心療法、精神分析療法、認知療法、芸術療法など心理療法を取り上げ、その理論の成り立ちの歴史から概要と意義を学び、それぞれの技法を体験的に学習する。また、それぞれの方法を実際に使ってみる。プライバシーへの配慮を含めた心理療法における倫理を学ぶ。			
8. 学習目標	1. 心理療法の諸理論・諸技法について、その背景となる考え方を理解し、それぞれの治療・援助の方法を具体的に知ること、その考え方や方法を日常生活に応用できるようになる。 2. 対人援助の場で、利用者の抱える問題に応じた心理的側面の援助方法を選ぶことができるようになる。			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	1. 課題レポートを作成する			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】原 千恵子(編)『心理学 A to Z』学苑社出版 2008 【参考書】下山晴彦編『よくわかる臨床心理学』ミネルバ書房 2006年 岩壁 茂『よくわかる臨床心理学』ナツメ社 2020			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 毎回の授業に対して、学生自身の書いたものを通して、基本的事項の理解度を評価する。 2. 授業への参加度として、自発的発言の多さを評価する。 3. 課題レポートまたは、期末試験)の文章が論理的であるかどうか、わかりやすく説得力があるかどうか。 ○評定の方法 1. 授業内で積極的であるか。20% 3. 試験の結果50% 2. 課題レポート30%			
12. 受講生へのメッセージ	心理療法の理論は、その成り立ちや目的によって対象とするところが異なる一方で、共通する部分もあります。本講義では、心理療法の代表的な基礎理論を取り上げ、その定義、歴史、病理論、アセスメント論、治療論などについて学ぶ。自他ともに「生きる」ために役立つ心理学をまなぶ。			
13. オフィスアワー	火曜日授業後。 電話 090 - 2746 - 2237 メールアドレス - chhara@ed.tokyo-fukushi.ac.jp			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション：心理療法とはなにか	事前学習	教科書 pp.3~24 を読んでおく。	
		事後学習	「心理療法」「カウンセリング」「精神療法」などの用語の意味と違いについてまとめる。	
第2回	クライエント中心療法	事前学習	教科書 pp.132 を読んでおく。	
		事後学習	授業で伝える	
第3回	精神分析療法	事前学習	教科書 pp.123 を読んでおく。	
		事後学習	授業で伝える	
第4回	精神分析	事前学習	教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	授業の中で伝える 他の治療法とどのように違うかを考える	
第5回	精神分析、	事前学習	さらに教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	無意識の構造 河合隼雄 中央公論社 を紹介する	
第6回	分析心理学	事前学習	教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	ユング心理学の現実的意味を考える	
第7回	行動療法	事前学習	教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	日常生活のなかでの行動療法を考える	
第8回	行動療法	事前学習	教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	不登校のための行動療法を考える	
第9回	認知行動療法	事前学習	教科書の関連事項をよむ 認知行動療法とは何かを理解する。	
		事後学習	日常生活のなかでの認知行動療法を考える	
第10回	認知行動療法	事前学習	教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	事例を読む	
第11回	非言語的アプローチ (遊戯療法、芸術療法など)	事前学習	遊戯療法について考える。教科書の関連事項をよむ	
		事後学習	遊戯療法の基本的考え方を理解する。	
第12回	非言語的アプローチ コラージュ療法	事前学習	教科書の関連事項をよむ コラージュ療法に	

			ついて理解する。
		事後学習	作品から読める心理について考える
第13回	非言語的アプローチ コラージュ療法	事前学習	実際に作品をつくる準備をする
		事後学習	作品から読める心理を考える
第14回	心理療法のまとめ	事前学習	教科書の関連事項をよむ
		事後学習	心理療法のめざすものについて考える
第15回	心理療法の倫理	事前学習	教科書の関連事項をよむ
		事後学習	守秘義務と研究について考える